

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【公開番号】特開 2012-254247 (P2012-254247A)

【公開日】平成 24 年 12 月 27 日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2012-055

【出願番号】特願 2011-130125 (P2011-130125)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

H 0 2 N 2/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/04 (2006.01)

G 0 1 B 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 Y

H 0 2 N 2/00 B

A 6 1 B 1/04 3 7 2

G 0 1 B 7/00 1 0 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 4 日 (2014.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

駆動部材に対して直線移動する被駆動部材の位置を検出する位置検出装置であって、
前記駆動部材に対して位置決めして設けられた固定子と、
前記被駆動部材に設けられた移動子と、
前記被駆動部材と前記移動子とを連結し、前記被駆動部材の直線移動方向における前記被駆動部材に対する前記移動子の進退移動を規制する規制手段と、
を備え、

前記規制手段は、前記移動子が固定されているとともに前記移動子を前記固定子へ向けて付勢する付勢手段を有し、

前記付勢手段は、前記移動子を前記固定子に接触させ、且つ、前記駆動部材に対して前記被駆動部材が直線移動されたときに、前記固定子に対する前記移動子の位置を、前記移動子を前記固定子に向けて付勢した状態で前記固定子の外面形状に沿って追従させる

ことを特徴とする位置検出装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の位置検出装置であって、

前記付勢手段は、

前記被駆動部材に固定され前記被駆動部材の直線移動方向へ長い弾性部材からなる軸部と、

前記軸部の端に設けられ前記移動子が固定された固定部と、

を有し、

前記軸部の弾性によって前記移動子を前記固定子に当接させることを特徴とする位置検出装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の位置検出装置であって、

前記付勢手段は、所定の回動中心を回動の中心として前記固定子に対して前記移動子を回動させて前記移動子の一部を前記固定子に当接させる回動手段を有することを特徴とする位置検出装置。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の位置検出装置と、
前記駆動部材と、
前記被駆動部材と、
前記駆動部材に接続され伸縮動作可能なアクチュエーターと、
を備えることを特徴とする駆動機構。

【請求項 5】

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の位置検出装置または請求項 4 に記載の駆動機構を備えることを特徴とする内視鏡装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の第 1 の態様は、駆動部材に対して直線移動する被駆動部材の位置を検出する位置検出装置であって、前記駆動部材に対して位置決めして設けられた固定子と、前記被駆動部材に設けられた移動子と、前記被駆動部材と前記移動子とを連結し、前記被駆動部材の直線移動方向における前記被駆動部材に対する前記移動子の進退移動を規制する規制手段と、を備え、前記規制手段は、前記移動子が固定されているとともに前記移動子を前記固定子へ向けて付勢する付勢手段を有し、前記付勢手段は、前記移動子を前記固定子に接触させ、且つ、前記駆動部材に対して前記被駆動部材が直線移動されたときに、前記固定子に対する前記移動子の位置を、前記移動子を前記固定子に向けて付勢した状態で前記固定子の外面形状に沿って追従させることを特徴とする位置検出装置である。